

いわて県民計画第2期アクションプランの策定について

1 基本的な考え方

- (1) 政策評価に基づく第1期プランの成果と課題を踏まえ、計画どおりに進まなかった施策については、達成度と投入コストによる成果優先度を再検討する。
- (2) 復興関連施策については、「この4年間で目指すもの」と「現状」とのギャップを的確に把握した上で、復興計画との整合性を図りながら、第2期プランの施策として掲載する。また、甚大な被害を受けた沿岸地域の復興を最重要課題として取り組むとともに、内陸地域の活力が沿岸地域の復興を支えていくことにも十分配慮する。

2 第2期プランの特徴

「政策編」「地域編」「改革編」の3編により具体の取組等を示すこととし、3編を次の共通の考え方に基づいて作成する。

- ◆復興の取組を地域の振興にもつなげていく
- ◆多様な主体の協働と参画により計画を推進していく

3 第1期プランからの変更点

全体の構成など、基本的に第1期プランを踏襲するが、次の事項については、項目の追加又は見直しを行う。

(1) 「第1期の成果と課題」の追加

政策推進目標と7つの政策について、政策評価結果に基づく成果と課題を記載する。また、評価結果を踏まえ、7つの政策の分野ごとに「今後の方向性」欄を設けることとし、「産業創造県いわて」「食と緑の創造県いわて」などの大きな括り（ビジョンの柱建て）で4年間の方向性を示す。

(2) 「指標」と「役割分担」の見直し

県以外の主体の取組も含めた「目指す姿指標」と、県の具体の取組である「具体的推進方策指標」との達成状況に差があることや、震災の影響によりこれまでの方向性の変更を余儀なくされることなどを踏まえ、42の政策項目に係る次の見直しを行う。

ア 被災した沿岸地域に係る指標を追加することを含めた指標の再精査

イ いわゆる「県民計画」であることを踏まえ、県以外の実施主体について、具体の取組の寄与度合いをより反映できる役割分担の記載を行うとともに、その取組が反映できる指標を追加

(3) 復興計画との整合性

復興計画の「短期的な取組」は勿論、「中期的な取組」とも整合性を図り、復興の取組を地域の振興につなげながら、「希望郷いわて」の実現に向けた取組を推進する。

4 策定スケジュール

時期	内 容
11 月	16 日 第 61 回総合計画審議会（於：サンセール盛岡） 21 日～ パブリックコメントの実施（～12/20） 下旬 }
12 月	上旬 } 12 月県議会定例会 12 日～ 地域説明会の実施（～下旬まで） ～20 日 パブリックコメント終了 パブコメ・地域説明会での意見の反映等 26 日 第 62 回総合計画審議会（於：エスポワールいわて）
1 月	上旬 } とりまとめ 中旬 } 下旬 }
2 月	上旬 } 第 2 期アクションプラン策定

【パブリックコメント】

地域編については、策定状況により実施時期を政策編より遅くすることも想定

【総合計画審議会】

- ・工程表を含めて審議
- ・地域編については策定状況により審議事項を決定

注) 現時点での予定であり、策定状況により日程は変更となる場合があります。